

たかさご新聞

アート作品展示と交流プログラムで
楽しい時間を満喫しましょう！

第43回作品発表会

日時：8月1日(金)、2日(土)10時～
場所：中央公民館彦三館

- ①アート作品展示
- ②交流プログラム

作品発表会は、アート作品展示と交流プログラムから構成されています。多くのお客さまの来場を待ちっています。

アート作品の展示は、各サークルや個人が、必要な時間と労力を注ぎこみ制作した作品を年に1回展示する貴重な発表会です。作者が作品に込めた思いや表現



去年アート作品展示を鑑賞する市長

アート作品展示エリアと交流プログラム開催日程等

開催エリアとタイムスケジュール	8/1(金)		8/2(土)	
	10:00～12:00	13:00～15:00	10:00～12:00	13:00～15:00
1階	ロビー 和室	煎茶翠会(9:30～15:20)	抹茶クラブ(9:30～15:20)	
2階	第1研修室	福祉バザー		
	視聴覚室	草笛愛好会体験会	ビデオクラブ映写会	オカリナクラブ癒しのコンサート
	第1会議室	骨粗鬆症財団による骨密度測定		
	第2会議室	寿雪書道会		
3階	軽運動室	デジカメクラブ体験会	寿雪書道会体験会	
	第2研修室	生け花		
	第3研修室	俳句・短歌・着物リサイクル会		
	大研修室	各種サークル		

サークル別の交流プログラム内容

サークル名	交流プログラム内容
チャリティバザー	作品系サークルが即売会を開催します
福祉バザー	高砂ボランティア会員が即売会を開催します
煎茶翠会	美味しい煎茶をいただきます
抹茶クラブ	ゆったりとお点前をいただきます
草笛愛好会	草笛演奏を試してみましょ
ビデオクラブ	製作ビデオの映写会です
オカリナクラブ	癒しのコンサートを開催します
J・ハーブクラブ	和琴、大正琴に触れてみましょう
骨密度測定	自分の骨密度を測定してみましょ
デジカメクラブ	美しい写真の撮り方をお教えます
寿雪書道会	自分の書いた書の添削をしてもらえます



去年の講座受講の様子

すこやか健康講座の受講で活動的なシニアライフを継続しましょう！
今年度も、独立行政法人国立病院機構金沢医療センターのご支援により「すこやか健康講座」を開催します。すこやか健康講座の受講で活動的な日常生活を継続しましょう。講座の最後に質問コーナーがあります。詳細内容を知りたい時には、「金沢医療センター健康まなぶ出前講座一覧」で検索し、「講座一覧」をクリックすると確認できます。多くのみなさんの受講をお待ちしています。

令和7年度すこやか健康講座日程一覧

回数	受講月日	受講時間	すこやか健康講座名	すこやか講座担当先生
第1回	5月30日(金)	開催済	すい臓がんも、早期に見えます !!	消化器内科 小村 卓也
第2回	6月30日(月)	14:30～15:30	胃がん健診、大腸がん健診受けましょう !!	消化器内科 加賀谷 尚史
第3回	7月2日(水)	14:30～15:30	大災害時の災害関連死を知り、これを防ごう！	院長 阪上 学
第4回	7月3日(木)	15:30～16:30	生活習慣に關係した、肝臓の病氣って何！?	消化器内科 松木 正也
第5回	7月17日(木)	13:30～14:30	もしパナゲームで考えよう！わたしにとって大切なこと	看護部 江戸 雅香子
第6回	8月6日(水)	13:30～14:30	お口と全身の深い関係	歯科口腔外科 丸川 浩平
第7回	8月29日(金)	13:30～14:30	関節リウマチについて	腎・膠原内科 北川 清樹
第8回	9月3日(水)	13:30～14:30	最新の糖尿病治療とは	内分泌代謝内科 栗田 征一郎
第9回	9月11日(木)	14:30～15:30	すい臓がんを知る	外科 大西 一朗
第10回	10月9日(木)	14:30～15:30	いまさら聞けないNST(自分の足で歩き続けよう！)	外科 大西 一朗

※募集人員は、1講座50名で、彦三館視聴覚室で受講します。
申込方法は、同窓会事務室内の受付表に記入してください。定員に達し次第、申込は終了します。

令和7年度 第1回グループ代表者懇談会を開催

令和7年度第1回グループ代表者懇談会が5月13日(火)13時半より彦三館大研修室で開催され、グループ総数57グループから代理も含め50グループが出席しました。
最初に金沢市民憲章の唱和を行い、来賓として中央公民館長松本直様から祝辞を戴きました。
報告事項として、令和7年度同窓会総会や事業計画や能登半島復興支援バス研修旅行等を説明し、次に審議事項として各担当から行事予定の詳細内容を説明しました。続いて各サークルによる意見交換に移りました。
民謡舞踊の「ひまわり会」確井会長より発言が有りました。「ひまわり会」は現在、会員数が10人です。毎年、春に会員募集のチラシを配布していますが、踊りを見るのは好きだが、人前で踊りたくないという人が多く、会員数が増えない状態が続いています。会員数の多いサークルが羨ましいとの事です。
さらに、会員減少のため講師先生へのお礼が十分にできず、綱渡りのような会計状態が続いていると苦しい胸の内を明かされました。

会員減少の創部30年の「ひまわり会」を継続運営するために、会長としての責任の重さやプレッシャーが会場内に伝わりました。
過去に舞踊系サークルの解散が2件有り、10人前後がサークル存続の危機レベルと言われています。
会員数の拡大や活動の活性化に期待や共感する拍手が起こりました。

体育まつりに参加して、みんなで盛り上げましょう！
2階観覧席で、クラス会が一致団結して、クラス会活動を活性化させ、体育まつりを盛上げましょう！
お弁当を食べながら、みんなでお話を弾ませ、体育まつりを楽しみましょう！



去年の開会式の様子

第45回体育まつり 6月3日(火)10:00～

金沢市総合体育館

体育まつりに参加して、みんなで盛り上げましょう！

注意事項のご案内

- 1)プログラムと会員証は、必ずお持ちください。
- 2)プログラム表紙最下部右側の切り取り線の下に期・組・氏名の記入をお願いします。
- 3)体育館で使用する内履きスックを必ず持参してください。
- 4)昼食は、2階観覧席で必ず食べてください。

5月21日(水)10時より「金沢駅もてなしドーム地下広場」で「高砂一座」発表会を開催しました。9サークルの約100人が出演し、歌や踊りで日々の練習成果を披露し、みんなで楽しみました。おばあちゃんのオカリナ演奏を見に来たという若い女性やフラツと立ち寄った外国人観光客の姿が見られました。
高砂ひびき会が横綱「大の里関」を題材に「目指せ頂点大の里」を相撲甚句で披露し、独特の節回しやリズムで観客の心に響きました。「どすこい」「ほい」



高砂ひびき会のみなさん

観客を巻き込み、大盛り上がりで、「高砂一座」発表会を開催
といったかけ声が飛び交い、ステージと観客が一体となり盛り上がりしました。
フラダンスクラブの出演時には、講師の竹澤先生が曲紹介を担当し、笑顔の大きさをアピールしました。



フラダンスクラブのみなさん

笑顔を作るには、唇を左右に開いて白い歯を見せ、相手に笑顔を見せるとみんなが楽しくなると話されました。滑らかに優雅な体の動きや情豊かな表情で、観客を楽しませました。
ひまわり会の「よさこい鳴子踊り」では、事前に前方の観客席に鳴子を配布し、踊りが始まると一緒に音を鳴らし、観客との一体感を演出しました。「花笠童頭」では、花笠のリズミカルな上下移動や回転等の大きな動きの有る舞踊を披露しました。



「ひまわり会」のみなさん

かがやき懐メロクラブのみなさん



かがやき懐メロクラブのみなさん



「ひまわり会」の確井会長



第1回グループ代表者懇談会

6月18日（水）ランチタイム・オンステージに
高砂謡曲教室出演のご案内

6月18日（水）のランチタイム・オンステージに高砂謡曲教室の女性陣が出演する予定なので、意気込み等を高砂謡曲教室の宮崎会長にお聞きしました。

能楽は、室町時代に始まった日本の伝統芸能で、能と狂言から構成されます。能には楽器や唄等の音楽や芝居等があり、その中の能の台詞（せりふ）の謡（うたい）部分を謡曲と言います。さらに能は、音楽や芝居がセットで演じられるので、日本のオペラとも言われています。

高砂謡曲教室では、能の台詞を独特の音色で謡い、男性と女性で音域が違うので、曲によって分けて練習しています。曲紹介は宮崎会長が担当します。会員数は、男性8人、女性13人の計21人です。



高砂謡曲教室のみなさん

三十年の歴史と新しい時代の短歌

高砂OB短歌会会長 106期1組 有川 明美

高砂OB短歌会は平成7年高砂同窓会の会員により結成されてから30年になります。現在会員は11名で毎月1回歌会を行っています。一人ひとりが営んでいる日常生活に心から湧いてくる思いを人に伝えることが短歌が生まれる根底だと言われています。

第二水曜日午前10時から12時に彦三公民館に集まり、会員たちの短歌に島田鎮子講師から添削をいただき、他の会員の意見に刺激を受けながら、季節の推移に人生の思いが重ねられるような短歌を歌いたいとみんなで学んでいます。

その短歌を北国新聞の「北夕句歌抄」や北陸中日新聞の「いしかわ文芸サークル」へ投稿し掲載しています。

OB短歌会は、現在会員募集中です。短歌に興味のある方は、ぜひ入会をお願いします。練習日は、第二水曜日午前10時から12時です。彦三館の句会会場へ直接お越しください。

口語体でも文語体でも会話体でも新しい自分の短歌を創作してみませんか？

短歌は一生続けるのに値するものと歌人たちからの言葉です。近代短歌も現代短歌も一緒に入会を歓迎いたします。



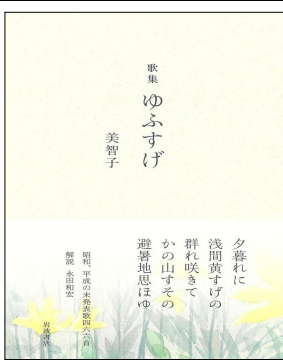
OB短歌会のみなさん

編集担当より

「サラダ記念日」は、俵万智さんにより1987年に出版され、280万部の大ベストセラーとなり、現代短歌の先駆的な短歌集です。その中に「この味



上皇后美智子様昭和・平成に詠まれた未発表の短歌集「ゆふすげ」が2025年1月に出版され、静かなブームとなっています。



114期2組のクラス会活動の紹介

114期2組 会長 角島 章

今年度から三代目の会長職を引き継ぎ、慣れないながらも、何とかクラス会運営を始めています。

我クラスは、クラス会を発足して大学卒業後4年目となりますが、会員数は発足の58名から45名と減少しております。

クラス行事はウォーキング研修会、日帰りバス旅行に加えて、年3回のランチ会を開催しております。行事参加者は、ランチ会は30名前後と比較的参加率は良いものの、ウォーキング研修会、日帰りバス旅行は20名前後となっております。開催が危ぶまれてきております。

このような状況の中では、会員のコミュニケーション活性化を今以上に行う必要があります。役員・班長のネットワークに関しては、偶数月の役員会、奇数月の正副班長会議は今まで通り継続していきます。

各班単位でのコミュニケーション活性化のために、各班単位の活動活性化を検討してもらいます。そのため高砂同窓会行事の積極的活用を行います。私自身も高砂同窓会3大行事は知っていたものの、それ以外の行事は念頭に無かった事も事実です。これはクラス会の一般会員の方と同様ではないかと思ひます、そこで、丁寧な情報提供を行うことで、一般会員が同窓会行事



正副班長会議の参加メンバー

5月28日（水）午前に、「伝統工芸館」くらしの博物館↓如来寺↓天徳院↓県立図書館↓美術工芸大学↓ランチ会」のウォーキング研修を開催しました。次の写真は、天徳院前での集合写真です。



ウォーキング研修中に天徳院前で

粋なことばと三昧の音

高砂端唄会 会長 111期3組 辻 幸治

金沢生まれの金沢育ち、高砂同窓会の会員諸氏にも多々おいでになれることと思ひます。

私、後期高齢者になってから特に、三昧の音に憧れ一度は三昧線に合わせて粋なことばで唄ってみたい常々思っていました。

高砂同窓会行事に参加したおり、元会社の先輩が「高砂同窓会の端唄グループに入会して唄っておる。一度見に来て、お前も入らんか。」とお誘ひがあり、渡りに舟とばかりに「見学させて下さい。」

後日、先輩に同行して彦三館の二階第一研修室に赴

俳句・短歌 さんご句会

老鷲の啼きてます山静か 八重子
天心の雲の重さや芒種来ぬ 姿婦子
房州の果汁したたる枇杷うまし 紀子
走梅雨相合い傘の老夫婦 依子
挿し木せし柳いつしか我家越ゆ ひろみ

石蓀句会

手づくりの粽に笑う家族の和 義景
粽食むやんちや坊主も十五歳 ミイ
笹ちまき柱のきずも薄くなり 眞素美
水面には銀のさざ波夏兆す 瀧華
夏めきて若い娘の肌眩しかり 和子

雪椿句会

夕暮れに白き増ゆく雪柳
一人喰ふ竹の子飯に妻偲ぶ
天瓜粉産衣はみ出す定一寸
藤の花簿紫の風にゆれ
校長の見守る下校一年生

順治 高三 房義 陽子 節子

OB短歌会

ミストにて三人娘がぼうばるは色とりどりの山のドーナツ
まだ春が届いていません大至急宅配便で送って下さい
雪を消す雨音せわし雛飾りの揃った乙女の襟足白く
思ひ出をアールグレイの缶に入れポンを捨てたり資源回収日
空蒼き阿蘇の風に梅かをる黒髪をの地も明日立ち別かる

千佳子 妙子 良子 信夫